

仏教文化論・東方文化交流史（文法経）
宗教学・文化環境論 A／宗教（教育学部）
（木・3限 森 雅秀）

レポートの課題

授業では弥勒、文殊、普賢を取り上げ、それぞれの造形と信仰を考察しました。仏像や仏画に見られる形態は、何らかの意味を持つとともに、作品が生み出された文化的な背景や人々の信仰と密接な関係があることを紹介しました。これをふまえ、授業では取り上げなかった日本の仏教美術の作品を1点選び、その形態と信仰（儀礼や実践を含む）の関係を説明しなさい。取り上げる仏は観音、阿弥陀など、弥勒、文殊、普賢以外でもけっこうです。作品解説の受け売りではなく、自分自身の考えをできるだけ盛り込むように。なお、取り上げた作品の名称、所蔵・所在、参照した図版を掲載する文献について、必ず明記すること。

分量：2,000字（原稿用紙5枚分）

期日：4年生は2月7日（水） それ以外は2月14日（水）

提出先：mmori@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

注意

- ・原則としてメールで提出してください。その場合、レポート本文はワード（Microsoft, Word）のファイルで作成し、添付してください。
- ・ファイル名は学籍番号（半角）名前（漢字等）.doc、メールの件名もファイル名（拡張子の.docは不要）と同じにしてください。ワード以外のワープロ・ソフトを使用する場合、テキスト・ファイルにして送るよう。
- ・レポートを受け取った返信を必ず送ります。提出して48時間以上たっても返信がない場合、もう一度送信してください。

※メール提出が困難な場合、締め切り期日までに直接、森研究室（文学部棟3階313）まで持ってきてください。